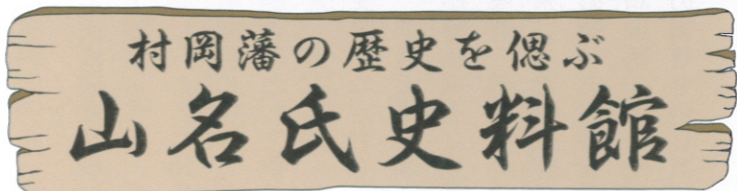


三代 矩豊公親筆



法雲寺 (山名寺)

☎667-1311 兵庫県美方郡香美町村岡区村岡2365

TEL (0796) 98-1151

(国道9号線村岡殿町バス停より南へ200m)



(義明氏のころ)



(叡観師となって)

但馬村岡の生んだ巨人 濱田先生記念室

- 大正10年美方郡射添村山田（現香美町村岡区山田）に誕生。
- 成人後、志を新たに上阪、実業界に入る。
- 医療法人「明仁会」設立、理事長に就任。
- 福島中央病院ほかを経営。
- 大阪万国博開催に当初より参画。政財界要人の信望を集め、万博成功に寄与する。
- 晩年に比叡山で出家得度。名を「義明」から「叡観」に改める。
- 千里山に一寺を設立。宗教法人を明寺第一世住職となる。
- 東西の古美術研究・収集でも著名。その一部を当寺に寄贈される。





(1) 観音さまと比翼の鶴



(2) 唐三彩の馬



御殿山陣屋図



山名蔵一階

- (1) 中国宋代(1000年前)の写実的な作風を示す一木彫の聖観音倚像。わが国鎌倉仏像彫刻に強い影響を与えた。比翼の鶴は孝明天皇妹君和宮様と徳川家茂將軍の婚儀の調度品。象牙と鼈甲が惜しみなく用いられている。
- (2) 中国唐代(1200年前)の陶芸。白・茶・緑の彩色から『唐三彩』という。貴顕の陵墓副葬品。通常のものより大きく史的価値が高い。
- (3) 中国明代(500年前)の成熟した陶芸。宮廷専用の景德鎮官窯造。手法から『五彩搔き落し尊式大瓶』と称する。これほどの大作は中国本土でも稀少。
- (4) 中国殷周代(3000年前)の青銅器で「爵」という酒器。皇帝が大功のある家臣に与える荣誉。そこから貴族に列することを授爵するようになった。
- (5) 日本芸術院会員金山平三画伯筆『風景』
日本芸術院会員小山敬三画伯筆『阿寒岳』
ともに昭和の洋画界を代表する作家である。

※その他中国・朝鮮・日本の古美術品を展観。

(3) 五彩大瓶



(4) 爵



(5) 洋画2点



山名氏八百年

山名氏は鎌倉初期に、清和天皇十代の孫新田義範が上野国山名荘(現高崎市山名町)に拠って一家を興したことに始まる。

室町時代に中興の祖伊豆守時氏が出て、幕府三管四職の雄として武名をあげ『六分一殿』と畏敬された。続く時義・時熙・宗全の四代が黄金時代で、天下を二分する勢いを示した。その後は戦国時代、下剋上の風潮に押されて次第に衰微する。

村岡藩祖禪高(豊国)公は因幡国最後の守護職で、秀吉・家康・秀忠に重用された。但馬国七美郡一円(美方郡東部)を領し、以降十二代二百五十年の間、交代寄合衆として幕府に出仕。明治四年に村岡藩一万一千石を立藩し、八百年にわたる武門の面目を示した。

※当館には山名氏の足跡を示す史料若干を展示している。

葵紋入り拝領行器(ほがい)



宗全公馬具(在判)

